※令和４年度以降入学生用

学校番号	3018

令和５年度　福祉科

教科	福祉	科目	こころとからだの理解	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「こころとからだの理解」（実教出版）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

介護を実践する際に必要な「こころとからだのしくみ」について勉強をしていきます。「介護が必要な状態」とは「こころ」もしくは「からだ」に何らかの不自由（障がい）を抱えているがために生活に支障のある状態を言います。１年生では精神的・身体的・社会的な健康を理解したうえで、利用者の生活困難を測る判断基準となる知識を学んでいきます。

①人間の「こころのしくみ」や「からだのしくみ」に興味や関心を持って授業に取り組み、グループワークや発表など、積極的に参加しましょう。

②国家資格である介護福祉士の受験資格を取得するために必要な科目です。

２　学習の到達目標

福祉の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、介護を実践するための人間の理解に必要な資質・能力を次のとおり育成することを目標とします。

①自立生活の支援に必要なこころとからだについて体系的・系統的に知識を理解するとともに、関連する技術を身に付けます。

②自立生活の支援に必要なこころとからだに関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養います。

③健全で持続的な社会の構築をめざして自ら学び、こころとからだに基づいた自立生活の支援に主体的かつ協働的に取り組む態度を養います。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	自立生活の支援に必要なこころとからだについて体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている。	自立生活の支援に必要なこころとからだに関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を身に付けている。	健全で持続的な社会の構築をめざして自ら学び、こころとからだに基づいた自立生活の支援に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	第1編　こころとからだの基礎的理解	第2章　からだのしくみの理解 1 生命維持・恒常性のしくみ 2 脳・神経系のしくみ 3 運動器系のしくみ 4 循環器系のしくみ 5 消化器系のしくみ 6 呼吸器系のしくみ 7 感覚器系のしくみ 8 内分泌系のしくみ 9 泌尿器系のしくみ 10 生殖器系のしくみ 11 血液・免疫系のしくみ	a:人間のからだのしくみとはたらきについて理解している。 b: 正常な場合のからだのはたらきと、正常ではないからだのはたらきについて、多面的に考察し、違いを表現することができる。 c: 介護従事者として、生活支援が必要な人のからだのしくみとはたらきについて主体的に取り組む態度を身に付けている。	定期考査 確認ﾃｽﾄ	定期考査 ﾜｰｸｼｰﾄ	ﾜｰｸｼｰﾄ 観察 提出ﾉｰﾄ
		第1編　こころとからだの基礎的理解 第１章　こころのしくみの理解 1 私たちの生活と健康 2 人間の欲求の基本的理解 3 自己概念と尊厳 4 意欲・動機づけのしくみ 5 思考・感情のしくみ 6 記憶・学習のしくみ	a: 人間のこころのしくみとはたらきについて理解している。 b:こころのしくみについて、自らの生活におけるこころの変容に照らし合わせて、多面的に考察し、表現することができる。 c: 介護従事者として、生活支援が必要な人のこころのしくみとはたらきについて主体的に取り組む態度を身に付けている。	定期考査 確認ﾃｽﾄ	定期考査 ﾜｰｸｼｰﾄ	ﾜｰｸｼｰﾄ 観察 提出ﾉｰﾄ
2学期	第2編　生活支援に必要なこころとからだのしくみの理解	2編　生活支援に必要なこころとからだのしくみの理解 第1章　生活動作に関するこころとからだのしくみ 1 身じたくに関するこころとからだのしくみ	a: 爪や髪、口腔の構造とはたらきについて理解している。 b:身じたくが、人間が生きていくうえでどのような役割をもっているか、多面的に考察し、表現することができる。 c: 介護従事者として、生活支援が必要な人の爪や髪、口腔の状態からわかる健康状態について主体的に取り組む態度を身に付けている。	定期考査 確認ﾃｽﾄ	定期考査 ﾜｰｸｼｰﾄ	ﾜｰｸｼｰﾄ 観察 提出ﾉｰﾄ

※令和４年度以降入学生用

		2　移動に関するこころとからだのしくみ	a:　姿勢や歩行のしくみやはたらきについて理解している。 b:移動が、人間が生きていくうえでどのような役割を持っているか、多面的に考察し、表現することができる。 c:　介護従事者として、生活支援が必要な人の姿勢や歩行の状態からわかる健康状態について主体的に取り組む態度を身に付けている。	定期考査 確認ﾃｽﾄ	定期考査 ﾜｰｸｼｰﾄ	ﾜｰｸｼｰﾄ 観察 提出ﾉｰﾄ
		3　食事に関するこころとからだのしくみ	a:人間が必要な栄養素量および水分量と食べるしくみについて理解している。 b:食べることが、人間が生きていくうえでどのような役割をもっているか、多面的に考察し、表現することができる。 c:　介護従事者として、支援が必要な人に対して安全に食事を支援する方法について主体的に取り組む態度を身に付けている。	定期考査 確認ﾃｽﾄ	定期考査 ﾜｰｸｼｰﾄ	ﾜｰｸｼｰﾄ 観察 提出ﾉｰﾄ
3学期		4　入浴･清潔に関するこころとからだのしくみ	a:皮膚や発汗のしくみ、入浴の効果と作用について理解している。 b:からだを清潔にすることが、人間が生きていくうえでどのような役割をもっているか、多面的に考察し、表現することができる。 c:　介護従事者として、生活支援が必要な人に対して安全に入浴を支援する方法について主体的に取り組む態度を身に付けている。	定期考査 確認ﾃｽﾄ	定期考査 ﾜｰｸｼｰﾄ	ﾜｰｸｼｰﾄ 観察 提出ﾉｰﾄ
		5 排泄に関するこころとからだのしくみ	a:排尿と排便のしくみ、排泄障がいと症状について理解している。 b:介助が必要な人に対して、その方の ADL に応じた排泄介助の方法を多面的に考察し、表現することができる。 c:　介護従事者として、生活支援が必要な人に対して安全かつ自尊心に配慮した排泄を支援する方法について主体的に取り組む態度を身に付けている。	定期考査 確認ﾃｽﾄ	定期考査 ﾜｰｸｼｰﾄ	ﾜｰｸｼｰﾄ 観察 提出ﾉｰﾄ

※令和４年度以降入学生用

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度